

シンポジウム『持続可能な社会のための“関係”創造』開催概要

昨年開催された愛・地球博（2005年3月25日～9月25日）では、「自然の叡智」を体現した「環境技術」や「市民参加」等の事業が、持続可能な社会の実現に欠かせない“人と人”“人と自然”“人と社会のつながり”といったテーマにおいて確実な成果を残しました。

今回のシンポジウム『持続可能な社会のための“関係”創造』では、その成果を持続可能な社会に向けて継承し、現実の社会で活かすための道筋を探ります。

当日は、下記のとおり、ロバート・W・ライデル氏（モンタナ州立大学歴史科教授）による講演や、トヨタのモビリティ i-unit が登場し、開発者による環境技術の紹介があります。

また、小川巧記氏（元 愛・地球博市民参加プロデューサー）をコーディネーターに、赤池学氏（ユニバーサルデザイン総合研究所所長）、萩原喜之氏（エコデザイン市民社会フォーラム代表理事）らをパネリストに迎えて、様々なつながりの回復や新たな関係創造が生み出す大きな力をテーマにしたパネルディスカッション、さらに同様のテーマを来場者自身も一緒に考える来場者参加型のワークショップを予定しております。

記

■実施日：9月16日（土）13：00開場

13：30～17：20（シンポジウム）

17：30～18：30（来場者参加型ワークショップ）

■主催：財団法人2005年日本国際博覧会協会

■会場：東京国際フォーラム／ホールD7（東京都千代田区丸の内3-5-1）

■プログラム：＜第一部＞基調講演（13:30～14:25）

・主催者あいさつ／中村利雄（(財)2005年日本国際博覧会協会事務総長）

・万博と社会／ロバート・W・ライデル（モンタナ州立大学歴史科教授）

＜第二部＞さまざまな持続可能性への試み（14:35～16:05）

・環境技術／赤池学（(株)ユニバーサルデザイン総合研究所所長）

加藤喜昭（トヨタ i-unit 開発チーフエンジニア）

・市民参加／小川巧記（元 愛・地球博市民参加プロデューサー）

萩原喜之（エコデザイン市民社会フォーラム代表理事）

・行政の立場から／藤原豊（経済産業省 環境経済室長）

・持続可能な開発のための教育／阿部治（ESD-J 代表理事）

＜第三部＞パネルディスカッション（16:20～17:20）

テーマ：『持続可能な社会のための“関係”創造』

コーディネーター：小川巧記

パネリスト：赤池学、阿部治、萩原喜之

本庄孝志（(財)2005年日本国際博覧会協会審議役 企画調整室長）

＜第四部＞来場者参加型ワークショップ（17:30～18:30）

・交流セッション：川嶋直（(財)キープ協会常務理事）